

2014年8月15日

株式会社 電通

代表取締役社長執行役員 石井 直

(東証第1部 証券コード: 4324)

**エクスペリエンシャル・マーケティング領域で市場をリードする、
南アフリカの広告会社「クリムゾン・ルーム社」の株式60%取得で合意**

株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：石井 直、資本金：746億981万円）の海外本社「電通イージス・ネットワーク」は、エクスペリエンシャル・マーケティング領域で市場をリードする南アフリカの広告会社「Crimson Room Communications Proprietary Limited」（本社：ヨハネスブルク市、以下「クリムゾン・ルーム社」）の株式60%を同社株主から取得することで合意しました。

エクスペリエンシャル・マーケティングとは、商品やサービスを実際に体験できるイベントを通して、ブランドに対する消費者の認知度・好意度を高めていくマーケティング手法です。理性と情緒の両面からエンゲージメントを高めることで、好意的な口コミ（バズ）やソーシャルメディアでの拡散を促し、コミュニケーションの好循環を生み出します。

2005年に設立されたクリムゾン・ルーム社は、設立当初からこの領域に重きを置いたビジネスを展開しており、来店や購買に結び付ける同社の各種ソリューション施策は、顧客から高い評価を得ています。

当社グループはこれまで、南アフリカにおいては Carat（カラ）、Vizeum（ビジウム）、Isobar（アイソバー）、iProspect（アイプロスペクト）、Posterscope（ポスタースコープ）のブランド各社を通してマス、デジタル、OOH（屋外）などの広告コミュニケーション・サービスを提供してきました。今回の買収により、新たにエクスペリエンシャル・マーケティングやプロモーション、PR 領域のサービスが加わるため、グループとしてフルサービスを提供していくことが可能になります。なお、今後当社は、クリムゾン・ルーム社を OOH 広告を専門的に取り扱う Posterscope に統合させた上で、当社グループが世界展開しているエクスペリエンシャル・マーケティングの専門ブランド「psLIVE（ピーエスライブ）」の南アフリカ拠点として機能させていく予定です。

当社グループのメディア・コミュニケーション・エージェンシーである Carat（カラ）が 2014

年 3 月に発表した本年の南アフリカの広告費は 19.8%の高成長を予測しています。

なお、本件が当社の平成 27 年 3 月期の連結業績に与える影響は軽微です。

【クリムゾン・ルーム社の概要】

社 名 : Crimson Room Communications Proprietary Limited
本社所在地 : 南アフリカ・ヨハネスブルク市
設 立 : 2005 年 8 月 (2014 年 5 月に現在の社名に改称)
株主構成 : ・電通イーゼス・ネットワーク 60% (取得後)
 ・クリムゾン・ルーム社経営幹部 40%
売上総利益 : 約 1.8 億円 (2013 年 12 月期)
代 表 者 : Philippa Viljoen (創業者兼クリエイティブ責任者)
従業員数 : 14 名
事業内容 : エクスペリエンシャル・マーケティング事業

以 上